

イーマ 10 月（第137回）例会のご案内

主催 特定非営利活動法人アイエイチエムエージャパン(イーマ) 理事長 根木孝朗

いつもイーマにお付き合いいただき、誠にありがとうございます。

8月例会は武藤志真子先生より「野菜はエライ?!」というテーマでお話いただきました。さて、10月の例会はミトコンドリア博士として有名な西原克成先生にご講演をいただきます。東京大学病院に在籍中、先生の赤ちゃんからお年寄りまで様々な症状の患者さん達は一様に低体温症・口呼吸で体のゆがみが見られました。現代医学の手法で治療後に回復しても多くの再発が見られました。その多くが免疫病です。現代医学に何か大きな見落としがあるのではないかと考えて、哺乳動物の進化の観点から赤ちゃんの病気を観察するとともに成人の生活習慣が及ぼす身体の変調を体温のもととなるエネルギーについて研究されてきました。

原因がなければ病気は起こりません。原因を解明せずにストレスとの一言で根本的に病を治さなければ本当の意味で健康にはなれません。

なぜ低体温・口呼吸・体のゆがみが病をもたらすのでしょうか。その謎を西原先生が明かしてくださいませ。ヒントは私達人間の赤血球を除くすべての細胞内に 800~3000 粒も存在するミトコンドリアが生成するエネルギーです。皆さんは短睡眠で口呼吸ではありませんか。体を酷使して冷飲料で体を冷やしてはいませんか？思い当たる方は是非当日会場へいらっしやっして下さい。

日時：平成 29 年 10月18日(水曜日) 18:00~20:00

テーマ：「**伝統育児法を復活させないと日本の赤ちゃんが危ない～発達障害急増の意味するところ～**」

講師：西原克成 先生 医学博士 日本免疫治療研究会 会長／西原研究所 所長



【プロフィール】

1940 年神奈川県生まれ。東京医科歯科大学卒業。

東京大学大学院医学系博士課程終了。

東京大学医学部口腔外科教室講師を経て、2001 年から日本免疫病治療研究会会長、西原研究所所長

【書籍】『生命記憶を探る旅』河出書房新社、『病気の8割は腸とミトコンドリアで治る！』ヒカルランド、『患者革命』KK ロングセラーズ、『血液をきれいにすれば健康で長生きできる』河出書房新社、『最新版 アレルギー体質は口呼吸が原因だった』青春出版、『病気知らずの子育て』富山房インターナショナル、『パニック障害、うつ病は腸のバイ菌が原因』たちばな出版、『口呼吸をやめれば若くなる！』青春出版社など多数

【会場】 四谷地域センター11階 集会室2・3 (東京都新宿区内藤町 87) 地下鉄丸の内線「新宿御苑前」駅徒歩 5 分

【参加費】 2,000 円

【参加方法】 メール honbu@ihma.or.jp、FAX 03-5225-1522 まで



ご氏名：

ご連絡先：電話または FAX

【例会】

ご出席

ご欠席

メールアドレス

